

1. 件 名：九州電力株式会社 川内原子力発電所の事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和4年12月8日 10:00～11:50

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC方針決定室

4. 出席者（原子力統合防災NWシステムによる出席）

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官、反町専門職、川本専門職、宮田専門職

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他5名

5. 要 旨

九州電力株式会社から、令和4年10月25日に実施した同社川内原子力発電所の原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁からは、

- ・課題抽出フローとして九州電力は、①緊急時対応能力に影響を及ぼす内容か、②訓練の目的・目標に基づく内容か、③現状の対策に対して追加・変更が必要となる内容か、の全てに該当するものを抽出の基準としているが、影響を及ぼすものは幅広く抽出し対応すべき。
- ・本面談において九州電力が抽出対象とした課題・コメントは、NRA助言、他電力評価についてであり、社内意見交換の内容については含まれていない。ATENAを通じて各原子力事業者に依頼している通り、挙げられた全ての課題・コメントを抽出対象とし、提示の上、それら全てに対応すること。
- ・課題1や「その他」①の対策としては、情報伝達運用や対応要領を予め決め、手順化することが対策として挙げられているが、その場の状況に応じ、重要度に応じて優先順位を判断し、適切な対応を取れるような対策とすべき。
- ・今回提示された原因と対策は、発話者の立場で書かれたものであり、統制側の視点からの分析も行い、必要に応じて対策を講じるよう検討すること。

との指摘を行い、九州電力株式会社からは本日の面談を踏まえ対応する旨回答があった。

原子力規制庁より、改善が必要となる事項については、具体的な対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施

結果報告書にまとめるように伝えた。

九州電力株式会社から、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

## 6. その他

配布資料：

資料1 2022年度 川内原子力防災訓練（10/25）における課題対応等  
について（案）（2022年12月8日 九州電力株式会社）